

## 新庄まつり特別プロジェクトの取組み結果について

### 1 地域全体の環境整備

#### (1) 最上地域観光協議会総会

日時 H30. 4. 25 (水) 13:30~15:00

内容 平成 30 年度事業計画 (ユネスコ登録「新庄まつり」を核とした地域連携による誘客の推進) の了承

→ 新庄まつりを活用し、最上地域一丸となって新庄まつりを盛り上げ、地域経済の活性化に向け取り組むことを確認

#### (2) 新庄まつり 特別プロジェクト会議

##### ①第 1 回

日時 H30. 6. 28 (木) 13:30~15:00

出席者 幹事・企画委員 19 名 (代理含む)、顧問 0 名

内容 ・特別プロジェクト会議の趣旨、新庄まつりを取り巻く最上地域の現状と課題を事務局から説明。

・今年度の新庄まつりの準備状況について、新庄まつり実行委員会事務局 (新庄市商工観光課、新庄商工会議所) から説明

・協議会の取組みについて、対応の方向性について意見交換等



##### ②第 2 回

日時 H30. 10. 10 (水) 13:30~15:00

出席者 (調整中)

内容 ・今年度の協議会の取組みの総括、次年度に向けた方向性について意見交換等

#### (3) 最上地域観光協議会市町村担当者会議

① 第 1 回 : H30. 4. 13 (金) 14:00~16:00

内容 新庄まつり特別プロジェクト会議 (総会) について

② 第 2 回 : H30. 6. 21 (木) 13:30~15:30

内容 新庄まつり特別プロジェクト会議 (第 1 回) について

③ 第3回：H29.7.30（月）14:30～16:00 ※同日 13:30～：美食広場担当者会議開催

内容 新庄まつり美食弁当の販売、新庄まつり山車制作体験の実施について

④ 第4回：H30.9.26（水）13:30～15:00

内容 新庄まつり特別プロジェクト会議（第2回）提出案件について 等

【検証】昨年度課題となった管内の合意形成は、協議会総会でプロジェクト会議を開催前に実施。  
今後は、各種取組みについて、協議会事業として定着させていくことでしょうか。

## 2 経済効果づくり

### (1) 管内への宿泊誘導

#### ① 二次交通確保対策

- ・平成30年度 新庄まつり観光客の管内宿泊誘導支援助成金

#### 【助成対象】

肘折温泉郷振興株式会社 「新庄まつりと棚田・ブナ林・肘折温泉2日間」

H30.8.24(金)～25(土) 1泊2日 8/25 本まつり観覧、肘折温泉宿泊 参加者4名

新庄まつりと棚田・肘折温泉 1泊2日の旅

◆実施日 平成30年8月24日(金)～25日(土)

◆行程

24日 新庄駅東口 13:00集合 ⇒ 大蔵村「田々の棚田・ブナ林遊歩」13:45～14:45  
⇒ 肘折温泉到着 15:15(お昼)

25日 観音堂(自由) 6:00～7:00 ⇒ 肘折温泉出発 9:00  
⇒ 新庄まつり見学(観覧席)10:00～昼食(新庄まつり弁当)12:00\*帰途

◆宿泊施設 肘折温泉の下部の旅館(1分館となります)。  
Aタイプは「いし」内附1泊2日タイプ(お風呂にシャワー付)があり、ご希望に応じて予約いたします。

◆旅行代金 (税込み)

区分	Aタイプ	Bタイプ
ツアー料金	15,000円	17,000円

◆参加人員 20名 (最少参加人数6名)

◆申込方法 下記詳細で詳細説明書(申込書)をダウンロードし、お申し込みください。お申し込みは、お申し込みの日の前日までです。

◆お支払い 申込書に添付された振込用紙に記入の上、お振込みください。お振込みは、お申し込みの日の前日までです。

◆お問い合わせ 0256(26)410106 担当 伊藤 由美子 [ibeyumi@terakawakyo.com](mailto:ibeyumi@terakawakyo.com)

#### 【新庄まつり観光客の管内宿泊誘導支援助成金の概要】

- (1) 最上地域内の温泉旅館組合による、新庄まつりを観覧した複数の宿泊施設の宿泊客を、バス等を借り上げ送迎
- (2) 県内の旅行会社による、新庄まつりの観覧及び最上地域内に宿泊するツアーの催行

#### 【助成額】

- 上記対象経費の2分の1
- 上限額 (1) 送迎1往復あたり 20,000円、(2) ツアー1本あたり 40,000円

【検証】昨年度課題となった交付要綱の制定時期を早め周知に努めた。ツアー参加者が少ないことから、ツアーの内容やツアーの周知広報などについて、年度の早い段階から戦略的に取り組むとともに、温泉旅館組合等の意見を聞きながら活用しやすい制度への改善を図る必要があるのではないか。

## ②着地型周遊旅行プラン造成

- ・首都圏の旅行会社（風の旅行社）に協力を得て、まつり期間外における「新庄まつり」と管内温泉地宿泊を組み合わせたツアーを試行

【ツアー】「新庄まつり」の山車制作体験と最上地区の歴史と自然を学ぶ旅

専門講師の案内で「新庄まつり」の起源や歴史を学びながら、山車の制作体験と若連との交流、肘折温泉に宿泊。新庄駅発着。



※YTSの新庄まつり特別番組（9月1日放送）で新たな取組みとして紹介

【催行状況】H30.7.28（土）～29（日）催行されず

H30.8.4（土）～5（日）参加者5名（秋田県4名、神奈川県1名）

【風の旅行社によるコメント】

- ・専門の講師による説明により新庄まつりの魅力が伝わった。
- ・観光客が地域の山車制作自体にかかわることは貴重な経験。
- ・周知の際、まつり自体の体験なのかどうか分かりにくい。

【検証】まつり期間以外において、新庄まつりを核とした着地型旅行商品が催行されたことは大きな成果。今回のツアーを踏まえ素材（山車制作体験、歴史センター、講師ガイド等）を磨き上げ、新たな素材として旅行会社に提案し、旅行商品化して定着を目指していく必要があるのではないか。

## ③まつりツアーの管内温泉施設活用誘導・管内宿泊施設の情報提供

- ・ユネスコ登録を契機として、「新庄まつり」観覧と管内温泉地宿泊を合わせたツアー造成を旅行会社へ働きかけ。

提案・売込み 17社・部署

販売 16社・部署

催行 14社・部署 参加人数 382人

- ・24日・25日について、新庄市内のホテル、シェーネスハイム金山、瀬見温泉、羽根沢温泉、草薙温泉は、ほぼ満室。赤倉温泉、肘折温泉では、一部の旅館等で空室あり。



- ・ 公共施設等管内宿泊施設について、チラシやホームページ等で周知。梅里苑や管内のホームページは、ほぼ満室。

**【検証】** 最上管内の多くの宿泊施設等は、まつり期間中ほぼ満室の状況であるが、赤倉温泉や肘折温泉には一部空室が残る。新庄まつりの経済効果を余すことなく地域で享受できるよう、受入余地の残る赤倉・肘折温泉組合とも課題を共有しつつ、継続して旅行会社に働きかけや広報・周知をしていく必要があるのではないか。

## (2) まつりの新たな魅力創出

### ① 美食広場の開催

日時 H30. 8. 24 (金) 13:00 ~ 21:00

H30. 8. 25 (土) 9:00 ~ 15:00

場所 きらやか銀行新庄支店駐車場

内容 『新庄・最上8市町村の「食」が新庄まつりで勢揃い』と銘打ち開催。

山・鉾・屋台行事観光推進ネットワーク

岐阜県大垣市、飛騨市からも参加。観光PR、山大フィールドワークなども実施。



**【検証】** 美食広場として、新たに食に特化した最上8市町村の食材のPRを行った。観光客に対する新たな魅力創出に貢献したものと評価しており、より内容の充実を図りながら、継続して取り組んでいく必要があるのではないか。

### ② 「新庄まつり美食弁当」の企画・販売

内容 山形県料理飲食業生活衛生同業組合の協力を得て郷土料理を中心にした彩り鮮やかな美食弁当を企画。まつり期間中1,500円で予約販売。

周知方法等 チラシ作成のうえ、新庄まつり観覧券購入者への郵送、HP掲載、情報案内センター・各種観光PRキャラバンで配布等にて周知。また、最上総合支庁長と新庄新聞放送記者会との懇談会で試食会を実施。

実績 約450個販売(昨年度:約330個)



**【検証】** 昨年度に比べ協力飲食店、販売個数ともに増え、最上地域内でのさらなる消費喚起にもつながったものと評価。より実践者が主体となった取り組みへ移行しつつ継続して取り組んでいく必要があるのではないか。

### ③ 山車づくり体験メニュー

#### ユネスコ登録記念「山車制作体験」の実施

日時 H30. 7. 28 (土)、② H30. 8. 4 (土) 17:30~20:00

場所 万場町若連

内容 新庄まつりの最大の特徴である「山車」制作について、山車連盟等の協力を得て、体験型メニューとして実施。紙貼り作業等の制作体験後、若連との交流会を実施。8/4は囃子若連との中帳場に参加。

参加者 7/28 4名 8/4 12名 ※ツアー関係者6名以外、県内の参加者  
(昨年度：7/29 4名、8/4 3名)

周知方法等 チラシ、ホームページ、各PRキャラバンでの配布、プレスリリース等



#### (参考)「新庄まつり山車の曳き手募集」

新庄市以外の最上地域7町村の全小学校対象に本まつりの山車曳き体験の参加者を募集

日時 H30. 8. 25 (土) (本まつり) 7:00~18:00頃

募集対象 最上7町村(新庄市を除く)の全小学生

参加者数 児童18人(8家族) (昨年度：児童7人(5家族))

体験先若連 4若連(昨年度：3若連)

【検証】2年目の受入れとなり、参加者も徐々に増え、若連の観光客の受入に対する意識も高まってきているのではないかと。今後、観光メニューとしての磨き上げや、いまだ新庄まつりを知らない県外の人に対して、山車制作体験をどのようにPRしていくなどの検討が必要があるのではないかと。

## 3 誘客対策

### (1) 機会を捉えた誘客PR

#### ① 仙台圏における誘客の取組み

##### ○「おいしい山形もがみ地域特産品フェア」での観光PR

日時 H30. 5. 17 (木)、18 (金) 各日 10:00~16:00

場所 AER仙台(仙台駅西口)

- 新庄まつりと夏のもがみ観光キャンペーン(仙台駅キャラバン)(JR新庄駅連携事業)  
日時 H30. 7. 13 (金) 各日 12:00~13:00  
場所 JR仙台駅

- 河北ウィークリーせんだい(7月5日)への記事掲載
- JTBのMOOK「大人の1泊2日旅・東北」への広告掲載

② 村山地域等における誘客の取組み

- 第2回最上地域フェアでの観光PR  
日時 H30. 5. 25 (金)、26 (土) 各日 10:00~16:00  
場所 山形大沼本店(山形市七日町)
- 最上・庄内観光スポットラリーでのスペシャルスポットの設定
- 山形新聞新庄まつり特集記事(8月23日)への広告掲載

【検証】 仙台、村山におけるキャラバンの実施や情報誌等への広告掲載等により誘客増に一定の貢献。引き続き、新庄市や実行委員会の取組みを応援する形で、PRしていく必要があるのではないか。

(2) インバウンド向けのPR

- 外国人向け情報発信
  - ・平成29年度に開発した最上地域広域周遊ルート「AMAZING MOGAMI」について、多言語パンフレット、ホームページ、動画、SNS等を活用し情報発信。
- 新庄まつりを核にした周遊ルート充実強化事業  
(東北観光復興対策交付金事業活用、最上総合支庁事業)
  - ・「AMAZING MOGAMI」について、台湾の旅行エージェント等の招へいによる現状分析・評価や周遊ルートの磨き上げ、旅行商品造成に向けたPRを実施中。



【検証】 新庄まつりを核とした周遊ルート「AMAZING MOGAMI」を活用したPRを展開。引き続き、新庄市や実行委員会の取組みを応援する形で、「新庄まつり」を活かした旅行商品化、販売につなげる取組みを進めていく必要があるのではないか。